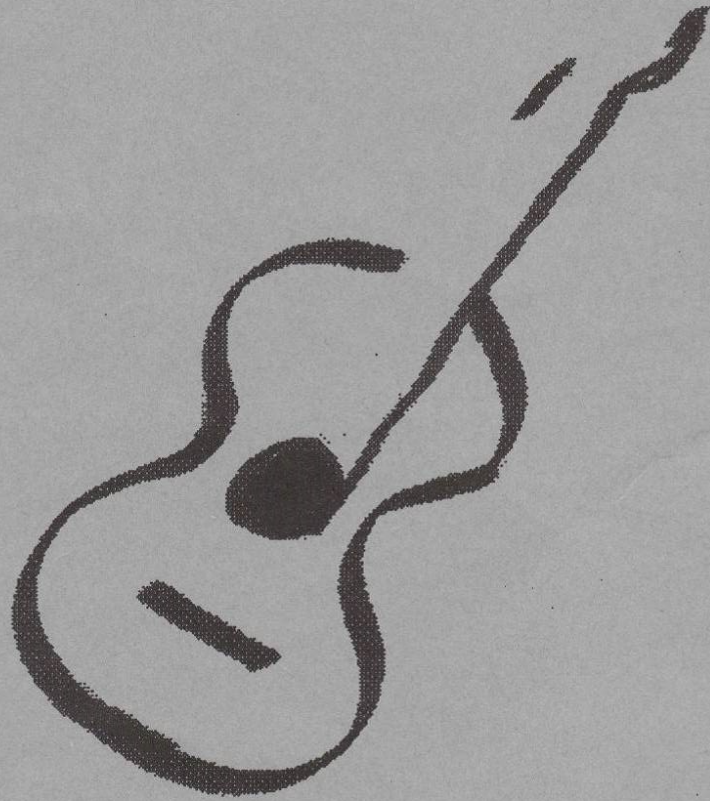


奈良ギター合奏団
第5回
定期演奏会



1993.9.23 2:00 PM 奈良町センター



ご挨拶

本日は、ようこそ来場くださりまして誠にありがとうございます。団員一同心から厚く御礼申し上げます。また関係各位の御支援により、ここに第5回目の演奏会を開催できますことを深く感謝いたします。

当合奏団は、昭和59年に三谷氏の呼びかけの下、ギター好きが集まって結成され、それ以後、年齢、職業、ギター歴も様々ながらアマチュア精神を第一に活動をつづけてまいりました。ギターを愛する同胞が集い、合奏する楽しさを通じて皆様とコミュニケーションできることが、ひいては地域文化の発展に寄与できるものと確信いたします。

高い志とは裏腹に、未熟な演奏であることは否めませんが、どうか皆様のあたたかいご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

1993.9.23

奈良ギター合奏団会長 中西光雄

PROGRAM

司会・榊井 恵実

1. 独重奏

- ◆ コラール 目覚めよと呼ぶ声が.....J.S. バッハ (高階健子 奥田奈穂)
- ◆ 美しきロスマリン.....F.クライスラー (// //)
- ◆ ロシアの思い出.....F.ソル (江口政樹 津田和彦)
- ◆ シャコンヌ.....J.S. バッハ (中西光雄)
- ◆ あなたのそばに.....R.テレオンソラノ (笠樫一郎 木村史郎)
- ◆ 二筋の川.....P.デルシア (// //)

2. 合奏

2-1 ポピュラー合奏 (全員)

- ◆ コンドルは飛んで行くJ.ミルヒベルグ
- ◆ 中田喜直メドレー~夏の思い出.小さい秋見つけた~
- ◆ エスパニャ.カーニC.マルキーナ
- ◆ カノンJ.パッヘルベル
- ◆ ラ・クンパルシータM.ロドリゲス

2-2 クラシック合奏 (全員 指揮.三谷健児)

- ◆ アイネ・クライネ・ナハトムジークW.A.モーツァルト
- ◆ アルハンブラ宮殿の思い出.....F.タルレガ

曲目紹介

1.独・重奏

◆コラール 目覚めよと呼ぶ声が(BWV645) J.S.バッハ

教会カンタータ140番の第4曲で、シューブラー・コラール第1曲としてオルガン独奏にも編曲されています。1stの奏でる旋律は中断なく反復されて現われ、その中からコラールの旋律が時折浮かび上がってきます。明朗で暖かな響きとともに、教会音楽としての崇高さが味わえる曲です。

◆美しきロスマリン F.クライスラー

ウィーン生まれのバイオリンの名手であるクライスラーはロマン的感情と、その甘美な演奏スタイルによって多くの人々を魅了しました。この小さなワルツは1910年のオリジナル作品です。

◆ロシアの思い出 F.ソル

F.Sor の生涯最後の曲となったこの作品は、当時のギター名手ナポレオン・コストに捧げられたものです。2台のギターはともにかなり複雑な音楽を奏で、さまざまなテクニックを披露します。楽曲形式は序奏～主題と7つの変奏～コーダ～終曲の形をとり、10分以上にも及ぶ大曲です。どうぞ眠らないで..

◆シャコンヌ J.S.バッハ～N. イエペス編

バイオリンパルティータ第2番の終楽章をかざるシャコンヌはバッハ器楽曲の傑作の一つとされ、様々な楽器のために編曲され、演奏されています。シャコンヌとは、8小節で与えられた主題をもとに、変奏が重ねられていくもので、一般にスペインで始まった古い舞曲であるとされています。

◆あなたのそばに(A tu vera) R.デレオンソラノ

スペインのカンシオン(流行歌)を”ルンバ・フラメンカ”のリズムで編曲しています。前奏の部分はフラメンコの”グラナイーナス”という形式で演奏します。非常に親しみやすい曲なので、一度聞くとすぐにメロディーを口ずさむことができると思います。

◆二筋の川 P.デルシア

世界的に有名なフラメンコギタリスト”パコ・デルシア”の曲で、そのなかでも最もヒットした作品です。前曲と同様に”ルンバ・フラメンカ”のリズムを持っています。パコの超絶技巧を駆使した曲ですが、できる限り原曲に近づける様、努力してみました。本日はその成果を発揮することができるかどうか.....。

2-1.ポピュラー合奏

◆コンドルは飛んで行く J.ミルヒベルグ

もともとインカの民謡であるこの曲は、ポピュラー曲としてもたいへん有名です。今回は緩急とりまぜた変化のあるアレンジでお届けいたします。イントロのタンポウの音は広い大地に響く太鼓を思わせ、高音部の装飾音でコンドルがいなくなきながら飛んでいく様を表わすなど、擬音を効果的に使っています。

◆中田喜直メドレー～夏の思い出.小さい秋見つけた～

小学校の愛唱歌として、皆さんよくご存じの曲です。
2曲とも中田喜直の作品ですがギターの音色にピッタリの曲です。

◆エスパニア・カーニ C.マルキーナ

スペインの情熱的リズムを持っており、闘牛士達の燃えるが如き情熱と華々しい活躍を思い起こさせます。
パソドブレの早いテンポを持ち軽快でたくましい曲です。

◆カノン 二長調 J.パッヘルベル

パッヘルベルは、17世紀後半のドイツを代表するオルガンの巨匠バッハにも大きな影響を及ぼした作曲家です。バロックの複雑な対位法を駆使しながら、甘美な和声を織り上げることを得意としています。このカノンは弦楽と通奏低音のための「カノンとジーグ 二長調」の一部です。

◆ラ・クンパルシータ M.ロドリゲス

アルゼンチン.タンゴ不朽の名曲で、1915年ウルグアイの作曲家マトス.ロドリゲスがまだ学生だったころの作品です。
クンパルシータとは仮装行列のことで、第2のアルゼンチン国歌とまで言われています。

2-2.クラシック合奏

◆アイネ・クライネ・ナハトムジーク W.A.モーツァルト

モーツァルトの残した数多くの作品のなかでも、最も有名な曲の一つです。モーツァルトはこの曲のほかにもセレナードをいくつか作曲していますが、愛らしく軽やかなメロディーも手伝ってか、その人気は他のおよぶところではありません。

・第1楽章 アレグロ

快活で行進曲風の曲想を持ったソナタ形式の曲です。

・第2楽章 ロマンズ・アンダンテ

上品で愛情豊かなメロディーが印象的な曲です。

・第3楽章 メヌエット・アレグロ

力強いリズムを持つ主部と流れるようなトリオの対照が魅力です。

・第4楽章 ロンド・アレグロ

終曲であるこの曲は、軽快で喜遊性に満ちた楽しいロンドです。

◆アルハンブラ宮殿の思い出 F.タルレガ

毎年恒例になりましたこの曲は、ギター独奏曲として良く知られています。ギターを志した人はだれもが一度は挑戦してみる曲ですが、独奏では右手がすごいそがしくて、「もう一本手が欲しい!!!」と叫びたくなるような難曲です。今日は17本もの右手がありますので、きっと上手に弾けるでしょう。

-----指揮者のつばやき(この10年に思う)-----

私が門下生をはじめ外部の方に呼びかけて、奈良ギター合奏団を作り、10年が過ぎようとしております。最初はギターだけでなくフルートや声楽の方などいろいろな方がいて、演奏会の曲目もいろいろでした。5年ほどで本格的なギター合奏団として成長し、定期演奏会も開催できるようになりました。一人で趣味としてギターを弾いていた方や、大学時代にクラブで活動されていた方など、年齢も職業もさまざまな方が入団される一方、仕事の都合や結婚で去っていかれた方もいました。それに合わせて演奏会での曲目や内容も変わって参りました。私は今40歳ですが20歳代の若い方が中心になり、それぞれの世代が十分に力を発揮し、もっと自由で新しく実りある合奏団になっていくことを楽しみにしています。

三谷健児

出演者のひとこと

荒木 孝二	ギター歴二十余年。一日に8時間練習した頃もありましたが、今は練習不足のため指が動かず困っています。
荒木佐知子	学生時代に始めたギターですが、10年以上のブランクを乗り越えて合奏団に入りました。皆について行くのに必死ですが、家事から解放される楽しい一時です。
岩井 道雄	17歳のころ始めて手にしたギターが今では生活の一部になりました。自分も他人も心安らげる音を出したいと思っています。
江口 政樹	合奏団に入団してはや2年。大学時代に始めたギターも、その後6年のブランクで動かなくなった右手に、悪戦苦闘中。
奥田 奈穂	今回が初めての演奏会です。アイネクライネを全曲通すと、指がつりそうになりますが、気合いを入れて頑張ります。
北尾美喜子	高校時代から始め、結婚後の長いブランクの後、3年前から再び始めました。ギター歴は長いのですが.....
木村 史郎	今年で五回目の定期演奏会となります。毎年演奏会が終わる度に、「来年こそはもっといい演奏を」と思うのですが.....
柴田 幸夫	職場ではギターと釣りの好きなスナフキン（ムーミン谷出身）を自称していますが、合奏団では足を引っぱっています。
嶋田 佳生	京都府は峰山町出身のギター大好き人間です。年を重ねてもギターへの慕いは募るばかりです。
高階 建子	「アナタは何が一番好きですか?」.「ギターです」.「では何が嫌いですか?」.「ギターです」..「.....????」
辻 高輝	クラシックの部では、バスギターを担当しています。これからも最年長記録を更新しながら頑張っていきます。
津田 和彦	友人の結婚式の2次会でギターを弾いた時「ブルガリアにギター留学してます」と冗談を言ったら、全員本気にしてしまいました。本当はスペインに留学しています。
中西 光雄	若い頃は短距離選手として、日夜練習に励み、100m 11秒9の記録が今では懐かしく思い出される、今日この頃です。
森田 実	ただ一人和歌山県から通っています。目標「プレスリーより大きくなること」
安井 浩	つれづれなるままに、日暮しギターに向かいて、タルレガなる調べたためすれば、あやしゅうこそもの狂おしけれ。
山田 和夫	練習に来るといつも「やーひさしぶり」と言われる私ですが、今回で3回目の出演となります。今日は頑張ります。
笠 慎一郎	1にギター.2にギター.3.4が無くて、5にギター。ギターさえ持たせれば幸せになれる、単純なオ・ジ・サ・マ。